

# 右京区まちづくり区民会議の全体像

## 1 設置目的

区制80周年を契機に、多様な主体のネットワークによる「オール右京」によって、京都市右京区基本計画2020「右京かがやきプラン」の実現に向けた方策の検討、実施及び進捗状況の確認を行うなど、右京区民一人ひとりが地域まちづくりの当事者として、右京の未来に向けて、夢とロマン、責任と行動を共有する「右京区民の 右京区民による 右京区民のための」まちづくりを推進するため、「右京区まちづくり区民会議」を設置する。

## 2 組織

組織	機能	構成
全体会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体のネットワークを築く交流の場</li> <li>各プロジェクトを具体化するための個別具体的な取組について検討</li> <li>重要な議題について承認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の多様な主体(オール右京)で構成(別紙)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>持続的に取組を行っていくため、団体(地域団体、各種団体、市民活動団体、学校・大学・企業、行政)として参画(当初74団体)</li> <li>そのほか、個人として学識者や大学生を含む公募委員も参画(当初17名)</li> </ul> </li> <li>開かれ、進化する組織                             <ul style="list-style-type: none"> <li>会議は原則公開</li> <li>構成団体等からの推薦に基づき、今後新たなメンバーを随時加えていく</li> </ul> </li> </ul>
代表幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなプロジェクトチームの設置について検討・提案</li> <li>右京かがやきプランの進捗状況の把握</li> <li>右京区まちづくり支援制度支援団体の選考</li> </ul>	全体会議の構成メンバーの中から20~25名程度で構成
プロジェクトチーム	各プロジェクトチームのテーマに応じた個別具体的な取組を実施	全体会議の構成メンバーの中から、テーマに関心を持つ有志によって構成

## 3 運営方法

連絡・調整等の運営面でも、行政と地域とのパートナーシップが必要  
ワークショップなどの会議運営やプロジェクトの実行等においてノウハウを有する市民活動団体と区役所とが「右京区まちづくり区民会議運営パートナー」として、互いに役割分担して区民会議を運営  
(例) 全体の連絡調整は右京区役所、各プロジェクトにおける連絡調整を市民活動団体など)

## 4 活動内容(通年)

組織	活動内容
全体会議	6月 第1回全体会議 各プロジェクトを具体化するための個別具体的な取組について検討 10月 第2回全体会議 ・各プロジェクトチームの活動の中間報告 ・次年度の取組方向等について検討 → 検討結果(ジュニア円卓会議からのアイデアも含む。)を踏まえて、右京区役所の次年度の予算案に反映するとともに、その他の財源の確保等についても検討 3月 第3回全体会議 ・各プロジェクトチーム(右京区まちづくり支援制度の支援団体を含む。)の活動結果報告 ・次年度の取組について検討
代表幹事会	5月 第1回全体会議の進め方等の検討、年度方針の確認 6月 右京区まちづくり支援制度支援団体の選考 9月頃 第2回全体会議の進め方等の検討、右京かがやきプランの進捗状況の把握 2月頃 第3回全体会議の進め方等の検討、プロジェクトチームによる個別具体的な取組の進捗確認
プロジェクトチーム	通年 各プロジェクトチームが相互に連携しながら個別具体的な取組を実施 ・右京かがやきプランを進めるに当たってまず最初に取り組む、「まちづくりに弾みをつけるプロジェクト」を基に、さまざまな取組を実施 ・取組の実施主体は全体会議の構成メンバーを核としながらも、取組内容に応じて全体会議以外の主体にも広く参画を求める

